

韓国における口蹄疫（0型）発生の概要（4月9日～11日）

（注）国際機関や在外公館等政府関係者から入手された情報のほか、一部、報道等による情報を含みます（〔 〕で記載）

追加情報は下線部で示します。頭数等は、国際機関への報告等の際に修正される場合があります。

異常確認日 (確定日)	発生場所	発生群 (畜主)	飼養頭数	発生例数 / 死亡数	発生状況、防疫対応、疫学情報
4/8 (4/9)	仁川広域市 ・江華島 (インチョン ・カンファド)	牛 (韓牛)	169頭	10頭 / 0頭	<ul style="list-style-type: none"> ・4月8日、獣医師が疑わしい症例を発見し、地元獣医当局へ通報。 ・地元当局が実施した抗体検出ELISAでは陰性だったが、疑わしい臨床症状があったため国家獣医研究研究所（NVRQS）で精密検査を実施。9日、RT-PCRで口蹄疫（0型）と判定。 [発生農場では、外国人労働者の雇用はなく、牛の売買などの取引もなかった。畜舎の敷料も国内産のおがくずを使っていた。]
-/- (-/-)	仁川広域市 ・江華島	牛 (韓牛)	84頭	-頭 / -頭	<ul style="list-style-type: none"> ・初発農場から1.4kmの距離に所在。
-/- (-/-)	仁川広域市 ・江華島	豚	1,500頭	-頭 / -頭	<ul style="list-style-type: none"> ・初発農場から1.5kmの距離に所在。
-/- (-/-)	仁川広域市 ・江華島	牛 (韓牛)	11頭	-頭 / -頭	<ul style="list-style-type: none"> ・初発農場から0.7kmの距離に所在。
-/- (-/-)	仁川広域市 ・江華島	牛 (韓牛)	220頭	-頭 / -頭	<ul style="list-style-type: none"> ・初発農場から1.8kmの距離に所在。

【韓国における防疫措置】

- (1) 4月9日、中央家畜防疫協議会を開催。
- (2) 発生農場の周辺における偶蹄類の動物の範囲を当初の半径500m以内から3km以内に拡大(9日)。
[211戸25,854頭(牛:180戸余り約5,700頭、豚:22戸約18,800頭)の牛豚が対象。12日までに終了予定。]
- (以下、前回発生時の対応を参考)
- (3) 危険区域、警戒区域、管理区域の3区域を設定し、移動等を制限
(参考:前回発生時の対応)
 - 危険区域 Risk Zone(発生場から半径3km以内の区域)
(対策の概要)偶蹄類の動物の移動・導入の禁止、家畜市場・と畜場の閉鎖、生乳の廃棄、人・車輛の移動の制限
 - 警戒(サーベイランス)区域 Surveillance Zone(発生農場から半径3km~10kmの区域)
(対策の概要)偶蹄類の動物・導入の禁止、家畜市場・と畜場の閉鎖、飼料用として生乳の使用の禁止、人・車輛の移動の制限
 - 管理(制限)区域 Control Zone(発生農場から半径10km~20kmの区域)
(対策の概要)家畜市場の閉鎖、人、車輛の移動の制限
- (4) 発生農場・施設の消毒
- (5) 韓国では口蹄疫ワクチン接種は禁止

【我が国の対応】

動物検疫所において、下記の対応を引き続き実施。

- ・韓国からの偶蹄類の動物の肉等及び糞等物の輸入禁止。
- ・韓国からの旅客に対する靴底消毒等の徹底。

【その他】

韓国政府から国際獣疫事務局(OIE)への報告

<速報> http://www.oie.int/wahis/reports/en_imm_000009126_20100409_155436.pdf